

海事経済に関する研究

研究分野: 海運史、海運アライアンス、港湾ガバナンス、海運市場と海事法、海運と環境問題

キーワード: 太平洋航路・欧州航路、水平統合、民営化・PFI、規制緩和、排出権取引

貢献できるSDGsの区分:



経営学部 国際経営学科 教授 山本裕

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/yamamoto/>

研究概要

- 海運史: ニーヴェン著、山本訳(2025)『米国海運100年の変遷』、中央経済社。
- 海運アライアンス: 山本(2017)「異論 海運再編と今後の展望」、日刊CARGO。
- 港湾ガバナンス: 山本(2015)「フランスに学ぶ港湾ガバナンスとオペレーション」長崎県立大学経済学部論集第48巻第3号。
- 海運市場と海事法: Yutaka, YAMAMOTO “The relationship between integration of liner shipping companies, alliance reformation and the shipping market structure” IAME2018 Mombasa, Kenya.
- 海運と環境問題: 2024年3月26日長崎市内にて、ONEが主催する第3回コンテナサミットに出席。分科会にて「海運における脱炭素化を推進するための産学連携方法等について」を議論。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- 海運企業や行政に対して、次世代燃料や環境対応船の開発、排出権取引などについて社会科学の見地からアドバイスが可能。船社との実績あり。
- 造船会社に将来の船ネタに関するアドバイスが可能。地元造船会社の実績あり。
- 船主や金融機関に対してシップファイナンスに関するアドバイスが可能。地元金融機関に実績あり。

外部との連携実績等

- 国際戦略港湾競争力事業評価委員会委員(国土交通省港湾局)、佐世保市地方港湾審議会会長(佐世保市港湾局)など多数